

建材・設備 EPD・CFP 検討会議 『実践型ワークショップ』開催のご案内

建材・設備 EPD・CFP 検討会議事務局
(一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会)

『実践型ワークショップ』の開催について

建築物のライフサイクルカーボンの削減に向けた制度については、今年 1 月に建築物 L C A 制度検討会（国土交通省）の中間とりまとめが示されたところですが、この中でも、2028 年度の制度開始を見据え、建材・設備製造事業者の役割として、建材・設備の CO2 等排出量原単位の整備が求められているところです。

この度、建材・設備関係の個社による EPD または CFP 算定に必要な座学と算定実習の提供による建材設備製造事業者の LCA 専門人材の育成を目的として、建材・設備 EPD・CFP 検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授）が主催し、下記概要のとおり『実践型ワークショップ』を開催することとなりました。

『実践型ワークショップ』の概要について

■主催 建材・設備 EPD・CFP 検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授）
(協力：経済産業省、国土交通省)

■事務局 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

■目的

EPD（環境製品宣言）・CFP（カーボンフットプリント）に係る個社製品データの作成に関して、建材・設備関係の個社による取組の一層の拡大のため、これらの個社における LCA 専門人材の育成を図ること、また習得した LCA 手法については受講者から各社内での展開および業界全体での浸透と意識向上につなげることを目的とします。

■対象者

個社製品データ（EPD・CFP）の作成に取り組んでいこうとしている建材・設備関係の個社の実務担当者を主な対象とします。

■開催回数 2026 年 7 月～2027 年 2 月、2 回開催予定

※第 1 回は 7 月 3 日開催済、第 2 回開催は日程確定後周知します。

■開催形式 オンライン開催（参加費 無料）

■参加者人数 最大 25 名程度/回（1 社 1 名）

※応募人数が上限を超える場合には、EPD・CFP の既取得会社以外の会社の優先、先着順などを考慮して人数調整をさせていただく場合があります。

実践型ワークショップのプログラム等について

(1) 参加対象者およびプログラムについて

①参加対象者

個社製品データ（EPD・CFP）の作成に取り組んでいこうとしている建材・設備関係の
個社の実務担当者を主な対象としています。

②講師

一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）

②プログラム（予定）

○開会・趣旨説明　【建産協】

○実践型ワークショップによる演習　【SuMPO】

- ・EPD・CFP について
- ・LCA 算定・算定ルール・情報開示について
- ・算定演習
- ・算定演習解説
- ・質疑応答

(注)

・EPD・CFP に係るデータを作成する立場にある方向けの内容となっています。

(2) 参加者の募集について

①開催案内

- ・実践型ワークショップについては（1）①の対象者に参加者募集の案内を行います。
- ・案内先の団体におかれましては、適宜、会員個社にご案内ください。
- ・事前に昨年度当協会開催の「EPD・CFP 勉強会（第1回～3回）」をご確認ください。
第1回： <https://www.kensankyo.org/business/epdcfdstudysession/>
第2回： <https://www.kensankyo.org/business/epdcfdstudysessionvol02/>
第3回： <https://www.kensankyo.org/business/epdcfdstudysessionvol03/>

【問合せ先】

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

品質・環境部長 若林（wakabayashi_m@kensankyo.org）